

(2) アグリマネジメント学科

1) 科目内容

<1年生>

1. 科目名	A-1 基礎演習		2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	農作業に必要な技能の基本や、肥料・農薬等の計算方法等を学ぶ。			
4. 到達目標	自らほ場の栽培計画を行い、施肥設計及び農薬の希釈ができる。 パイプハウス設置の基本を理解する。			
5. 学習・ 評価方法	学習方法:演習形式(自己紹介、計算、実習等) 評価方法:出席及び試験			
6. 使用テキスト	教員配付資料			
7. 参考文献				
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題/実習内容	
	1	2	自己紹介とスピーチ	
	2	2	単位計算・農薬の希釈	
	3	2	肥料・施肥について	
	4	2	栽培計画と栽培記録	
	5	2	生産コストについて	
	6	2	パイプハウスの設置(1)	
	7	2	パイプハウスの設置(2)	
	8	2	復習・試験	

1. 科目名	A-2 農業機械実習		2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	農作業事故の現状と農作業安全について 小型農業機械の安全な取扱い(刈り払い機・運搬車・歩行型トラクターの構造と取扱い等)を修得 乗用トラクターの仕業点検とロータリー耕うんの運転操作及び正確な作業の修得			
4. 到達目標	農業機械を安全かつ効率的に使用できる。			
5. 学習・ 評価方法	学習方法:講義及び実技形式 評価方法:出席及び試験			
6. 使用テキスト	教員配付資料			
7. 参考文献	「トラクターの機能と基本操作」(全国農業機械化研修連絡協議会)※共同購入			
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題	
	1	2	農作業事故の現場と農作業安全について 刈り払い機の点検とエンジンの始動及び基本操作・歩行型トラクタの仕業点検について	
	2	2	刈払機の基本操作と安全な刈払作業の修得	
	3	2	運搬車の点検と道路の安全走行練習	
	4	2	トラクタの仕業点検箇所と点検方法(試験含む)	
	5	2	トラクタのロータリー耕うんの仕方(1)	
	6	2	トラクタのロータリー耕うんの仕方(2)	
	7	2	トラクタのロータリー耕うんの仕方(3)	
	8	2	トラクタのロータリー耕うんの仕方(運転の手順と作業の精度について試験)	

1. 科目名	A－3 専門実習	2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員、 農業研究開発センター職員(水稲、果樹、茶)、 畜産技術センター職員、大口 善博(県職員OB)
3. 授業概要	野菜、花き、果樹の生理生態、栽培技術の基礎的知識を学ぶ。 生産物の収穫から調製、出荷方法及び販売について学ぶ。 水稲、茶、畜産について、生産の概要を学ぶ。 農業機械の構造について学ぶ。		
4. 到達目標	農業経営に必要な生産から販売までの知識、技術の修得。 体験や栽培技術の習得を通じ就農時の課題を明確にする。		
5. 学習・ 評価方法	学習方法: 実習形式(ほ場、施設等)、現地視察 評価方法: 出席、理解習熟度、取り組み姿勢、実技試験、意見発表 等		
6. 使用テキスト			
7. 参考文献			
8. 授業計画	実習内容・栽培品目		
	園芸作物(野菜・花き・果樹)実習 栽培管理(育苗、施肥技術、作型に応じた品種 選定、接ぎ木、整枝・せん定、かん水管理) 薬剤散布、畝たて・マルチ張り 農機具の使い方、施設の取り扱い 収穫・調製・出荷 農産物の販売(農産物販売実習)	<野菜>イチゴ、トマト、キュウリ、ホウレンソウ、ナス、カボチャ、 スイカ、ズッキーニ、ハクサイ、キャベツ、ブロッコリー他 <花き>切り花(小キク、バラ他)、鉢花(シクラメン)、花壇苗 <果樹>カキ、フドウ、モモ、ナシ、イチジク、ウメ他 ※果樹の実習の一部は果樹・薬草研究センターにて 実施	
	水稲実習(6、7、10、11月) 茶実習(収穫作業、茶工場見学等) 畜産技術センター視察研修 農業機械実習 (9月 ガソリンエンジンの分解組立て / トラクタの単体運転) (2月 農業機械の簡易な修理 / 工具の使い方・計測 / 実技試験) 圃場環境整備 意見発表(卒業後のビジョンについて)		

1. 科目名	B-1 リーディング野菜生産	2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	本県農作物のリーディング品目のイチゴをはじめとする主要野菜品目について、園芸野菜の起源や品種分化、成長と発育、作型や栽培管理等の栽培技術、県内の生産状況等と生産知識を学ぶ。		
4. 到達目標	野菜栽培に関する基礎知識の修得。		
5. 学習・ 評価方法	学習方法: 講義形式 評価方法: 出席及び試験		
6. 使用テキスト	教員配付資料		
7. 参考文献			
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題
	1	1	県内野菜生産の現状、野菜の起源と分類
	2	1	野菜の成長・発育
	3	1	野菜の生産技術(果菜類)
	4	1	野菜の品種と作型
	5	1	野菜の生産技術(播種～育苗)
	6	1	野菜の生産技術(葉根菜類)
	7	1	野菜の生産・出荷に用いられる設備や施設
	8	1	試験

1. 科目名	B-2 リーディング花き生産		2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	本県農作物のリーディング品目であるキクをはじめとする県内花き生産の現状、花きの種類と分類、花きの繁殖法・育苗技術、生育と開花調節、花の鮮度保持、消費の動向を学ぶ。			
4. 到達目標	花き栽培に関する基礎知識の修得。			
5. 学習・評価方法	学習方法: 講義形式 評価方法: 出席及び試験			
6. 使用テキスト	教員配付資料			
7. 参考文献				
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題	
	1	1	県内花き生産の現状、花きの種類と分類	
	2	1	花きの成長と環境	
	3	1	花きの成長・開花	
	4	1	成長・開花の調整技術	
	5	1	花きの品質と品質保持	
	6	1	花きの育苗と繁殖、育種	
	7	1	花き生産の実際	
	8	1	試験	

1. 科目名	B-3 リーディング果樹生産		2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	本県農作物のリーディング品目のカキをはじめとする主要果樹品目について、県内果樹の歴史や品種、生理生態、栽培管理等の栽培技術、加工、流通を学ぶ。			
4. 到達目標	果樹栽培に関する基礎知識の修得。			
5. 学習・評価方法	学習方法: 講義形式 評価方法: 出席及び試験			
6. 使用テキスト	教員配付資料			
7. 参考文献				
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題	
	1	1	果樹概論 果樹の生理生態、栽培技術、及び加工	
	2	1	県内カキ生産の現状、歴史、栽培技術、生理生態、加工、流通	
	3	1	県内ウメ・モモ生産の現状、歴史、栽培技術	
	4	1	県内ブドウ生産の現状、歴史、栽培技術	
	5	1	県内ブルーベリー・イチジク生産の現状、歴史、栽培技術	
	6	1	県内温州ミカン生産の現状、歴史、栽培技術	
	7	1	県内のオウトウ生産の現状、歴史、栽培技術	
	8	1	試験	

1. 科目名	B-4 水田作物生産		2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	水稻、小麦、大豆等の県内における状況や栽培技術の基礎を学ぶ。			
4. 到達目標	自らの農地や地域の水田等の保全管理等の目的で、作物栽培に取り組む際に活用できる。			
5. 学習・ 評価方法	学習方法:講義形式 評価方法:出席及び試験			
6. 使用テキスト	教員配付資料			
7. 参考文献				
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題	
	1	1	作物概論(米生産の状況等)	
	2	1	水稻の育苗管理、本田管理	
	3	1	小麦・大豆、トウモロコシ、ソバの栽培管理	
	4	1	試験	

1. 科目名	B-5 大和茶生産		2. 担当教員	大和茶研究センター職員
3. 授業概要	茶の栽培技術、生理生態、歴史及び生産状況等を学ぶ。			
4. 到達目標	茶栽培技術、歴史及び生産の現状等に関する基礎知識の修得。			
5. 学習・ 評価方法	学習方法:講義形式 評価方法:出席及び試験			
6. 使用テキスト	教員配付資料			
7. 参考文献				
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題	
	1	1	茶の歴史と現状	
	2	1	茶の効能と利用	
	3	1	茶の農薬と栽培技術	
	4	1	大和茶の生産、試験	

1. 科目名	B-6 畜産技術		2. 担当教員	畜産技術センター職員
3. 授業概要	大和牛、大和肉鶏等を含む主要畜産品目について、畜産の種類、歴史と生態、畜産技術、県内の生産状況等を学ぶ。			
4. 到達目標	畜産技術等に関する基礎知識の修得。			
5. 学習・ 評価方法	学習方法:講義形式 評価方法:出席及び試験			
6. 使用テキスト	教員配付資料			
7. 参考文献				
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題	
	1	1	日本の畜産情勢、家畜ふんのたい肥化处理	
	2	1	養豚・養鶏(採卵鶏・肉用鶏)の生産技術、家畜の防疫衛生	
	3	1	酪農・肉用牛の生産技術	
	4	1	飼料作物の生産利用、試験	

1. 科目名	C-1 植物保護		2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員		
3. 授業概要	野菜、花き、果樹等の病害、虫害、雑草防除及び鳥獣被害対策についての知識を学ぶ。					
4. 到達目標	植物保護、病害虫の防除に関する基礎知識の修得。					
5. 学習・ 評価方法	学習方法:講義形式 評価方法:出席及び試験					
6. 使用テキスト	「農作物病害虫診断ガイドブック」(静岡県植物防疫協会)※共同購入 「ミニ雑草図鑑」(全国農村教育協会)※共同購入 教員配付資料					
7. 参考文献						
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題	回	コマ数	授業演題
	1	1	病害虫防除について	9	1	花きの主な病害虫
	2	1	病害について	10	1	果樹の主な病害虫
	3	1	病気の診断	11	1	雑草防除1
	4	1	害虫について	12	1	雑草防除2
	5	1	鳥獣被害対策	13	1	総合防除(IPM)1
	6	1	野菜の主な病害虫1	14	1	総合防除(IPM)2
	7	1	野菜の主な病害虫2	15	1	総合防除(IPM)3
	8	1	野菜の主な病害虫3	16	1	試験

1. 科目名	C－2 土壌肥料			2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員		
3. 授業概要	第1～8回 土壌環境、土壌の性質、養分、肥料、診断法等を学ぶ。 第9～12回 調査器具の使用法、土壌の採取、測定法、簡易分析法等を学び、土壌診断結果から施肥設計を行う。						
4. 到達目標	土壌診断結果を読み取り、自ら施肥設計を行うことができる。						
5. 学習・ 評価方法	第1～8回 学習方法：講義形式 評価方法：出席及び試験 第9～12回 学習方法：演習形式 評価方法：出席及びレポート						
6. 使用テキスト	教員配付資料						
7. 参考文献							
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題	回	コマ数	授業演題	
	1	1	土壌のなり立ち、三相分布	7	1	有機質資材と土づくり	
	2	1	土性区分、土壌水分	8	1	試験	
	3	1	ECとpH	9	2	調査断面の作成 〈演習〉	
	4	1	CECと塩基飽和度	10	2	ECメーター、pHメーターの使い方 〈演習〉	
	5	1	植物の必須元素	11	2	酸度矯正（緩衝能曲線の作成）〈演習〉	
	6	1	肥料の種類	12	2	リアルタイム診断 〈演習〉	

1. 科目名	C-3 農業薬剤	2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	農薬の系統や種類、農薬取締法上の留意点、系統のローテーションや散布法等、適切な使用について基礎を学ぶ。		
4. 到達目標	農薬の系統や種類を理解し、適正に使用できる。		
5. 学習・評価方法	学習方法：講義形式 評価方法：出席及び試験		
6. 使用テキスト	教員配付資料		
7. 参考文献	「農薬概説」(日本植物防疫協会)		
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題
	1	1	農薬と農薬取締法とは
	2	1	作物の登録名
	3	1	殺虫剤とその種類・性質
	4	1	殺菌剤とその種類・性質
	5	1	除草剤・展着剤とその種類・性質
	6	1	適切な使用方法
	7	1	実践的な農薬系統認識
	8	1	試験

1. 科目名	C-4 農業機械	2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	個々の農業機械と体系的農業機械化・農作業の合理化と農業機械の役割について 農業機械の活用と機械のメンテナンスの必要性を理解 安全使用に向けた基礎知識の修得。		
4. 到達目標	個々の農業機械を学びながら他の作業機との関連、バランスを考えた機械化体系を学ぶ必要があり近代的な農業機械のオペレーターに必要な学科の修得		
5. 学習・評価方法	学習方法: 講義形式 評価方法: 出席及び試験		
6. 使用テキスト	「トラクターの機能と基本操作」(全国農業機械化研修連絡協議会)※共同購入		
7. 参考文献			
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題
	1	1	農業機械の基礎(機械要素、原理法則、燃料潤滑油等)について
	2	1	農業機械の構造及び機能と取扱い 点検整備と簡易な修理
	3	1	エンジン、動力伝達装置(クラッチの種類と構造、差動装置とデフロック装置、変速装置等)
	4	1	走行装置、かじ取り装置、制動装置(ブレーキ)、タイヤ
	5	1	作業機装着装置と油圧、耕うん・整地(トラクタの作業機と自動化装置)動力噴霧器
	6	1	収穫調整用作業機 農業機械の点検整備用機器と使用方法
	7	1	農業機械の効率利用、組織的利用、農作業安全と農業機械の安全な取り扱い
	8	1	試験

1. 科目名	C-5 植物生理と育種	2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	園芸作物を栽培するのに必要な植物の基本的な生理機能(発芽、光合成、栄養、花芽分化、ホルモン等)や、遺伝の法則、育種の原理と育種法の基本について学ぶ。		
4. 到達目標	植物の生理機能を理解し、生産技術との関係を理解する。 食糧生産、高品質生産、周年生産などを支える育種について原理と育種法を理解する。		
5. 学習・評価方法	学習方法: 講義形式 評価方法: 出席及び試験		
6. 使用テキスト	教員配付資料		
7. 参考文献			
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題
	1	1	種子の発芽・植物ホルモン
	2	1	光合成と呼吸
	3	1	栄養生理・開花生理
	4	1	環境に対する反応(屈性や休眠)、試験(1)
	5	1	遺伝の法則ーメンデルの法則ー
	6	1	育種の原理と育種法
	7	1	育種の現状について
	8	1	試験

1. 科目名	D-1 農業簿記		2. 担当教員	中島 誠（税理士）
3. 授業概要	複式簿記一巡の流れとともに、実務上の取扱いとの違いを学ぶ。			
4. 到達目標	農業経営のための基礎知識と記帳管理方法の修得。			
5. 学習・ 評価方法	学習方法:講義形式 評価方法:出席及び試験			
6. 使用テキスト	「農業簿記検定教科書3級」(大原出版) ※共同購入 「複式農業簿記実践テキスト」(全国農業会議所) ※共同購入 「農業簿記検定問題集3級」(大原出版) ※共同購入			
7. 参考文献	「複式農業簿記実践演習帳」(全国農業会議所)			
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題	
	1	1	農業簿記の概要	
	2	1	複式簿記一巡の流れ(1)	
	3	1	複式簿記一巡の流れ(2)	
	4	1	複式簿記一巡の流れ(3)	
	5	1	期中取引の実際例(1)	
	6	1	期中取引の実際例(2)	
	7	1	期中取引の実際例(3)	
	8	1	期中取引の実際例(4)	
	9	1	決算整理・棚卸資産	
	10	1	決算整理・減価償却・育成費	
	11	1	決算整理・損益の繰延・見越	
	12	1	決算整理・決算修正・精算表	
	13	1	決算整理・帳簿の締切・繰越	
	14	1	消費税について	
	15	1	総まとめと練習問題	
	16	1	試験	

1. 科目名	D-2 農業経営ビジョンⅠ		2. 担当教員	藤本高志（大阪経済大学教授）
3. 授業概要	農業経営を実践するために必要な、農産物市場、フードシステム、食品産業の構造、食のリスクマネジメント、マーケティング、農業政策に関する基礎的な知識について学ぶ。			
4. 到達目標	①食料の需要、供給、および価格の決定メカニズムを説明できる、②食料市場の不安定性の理由を説明できる、③国内農業保護政策とそれが抱える問題を説明できる、④フードシステムが成長した理由を説明できる、⑤食品産業の構造変化とそれが農業に及ぼす影響を説明できる、⑥食のリスクとうまく付き合う方法を説明できる、⑦マス市場からニッチ市場が分離形成された理由を説明できる、⑧フードシステムの特徴を述べることができる。			
5. 学習・評価方法	学習方法：授業の1週間前にWeb上に講義ノートアップするので、それを事前に読んで予習する。 評価方法：講義ノートの最後に示したテストの回答を、Web上に設けたFormsに提出し、その結果で評価する。			
6. 使用テキスト	教員配付資料			
7. 参考文献	なし			
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題	
	1	1	食料市場の経済分析（需要の決定メカニズム、供給の決定メカニズム、価格の決定メカニズム）	
	2	1	食料市場の不安定性とその要因（食料の価格変動、農業生産の不安定性、食料需要の価格弾力性、豊作貧乏、くもの巣モデル、価格安定政策）	
	3	1	農産物貿易と国内農業保護（比較優位の理論、貿易による便益の配分、国内農業を保護する理由、先進国の国内農業保護政策、WTO農業協定下における農業政策、FTAと日本農業）	
	4	1	食生活の成熟とフードシステムの成長（食生活の成熟、食の外部化、フードシステムの成長、フードシステム成長がもたらした問題と地産地消）	
	5	1	食品産業の構造変化と農業（食品小売業の構造変化と農業、外食・中食の市場規模と産業構造、食品製造業の市場規模と産業構造）	
	6	1	食のリスクと食品市場（食の安全・安心が脅かされている、情報の非対称性、リスクとうまく付き合う、食と農の距離の拡大が根本原因）	
	7	1	農産物市場に生じるニッチ（市場のマス化とニッチ市場の分離形成、ニッチ市場がどのように形成されるかのメカニズム）	
	8	1	フードシステムの垂直的統合（フードシステムの垂直的統合とは？、フードシステムの垂直的統合の実例、垂直的統合されたフードシステムの特徴）	

1. 科目名	D-3 農業経営ビジョンⅡ		2. 担当教員	高橋太一郎(中小企業診断士) 水野長志郎(障害者雇用スーパーアドバイザー)
3. 授業概要	農業経営に関する基礎的・基本的な知識と技術について学ぶ。			
4. 到達目標	農業経営の考え方を理解し、将来独立自営就農者として、認定や資金調達に必要な経営計画を作成する知識や実践力を身につけるとともに、福祉と連携した農業経営について理解を深める。			
5. 学習・評価方法	学習方法：講義形式 評価方法：出席及び試験			
6. 使用テキスト	教員配付資料			
7. 参考文献	「農業経営概論」（実教出版株式会社）			
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題	
	1	1	農業経営の概論	
	2	1	経営戦略の策定	
	3	1	事業戦略の策定	
	4	1	収支計画の作成	
	5	1	農福連携の取り組み	
	6	1	試験	

1. 科目名	D-4 情報処理 I		2. 担当教員	電子自治体アドバイザークラブ 田中淳司・前田忠信（パソコン講師）
3. 授業概要	文書作成ソフトWord・表計算ソフトExcelの基礎及びファイル管理を学ぶ。			
4. 到達目標	農業経営の実務を補助・効率化する訴求力ある資料や計算シートを作成できる。			
5. 学習・ 評価方法	学習方法：講義形式 評価方法：出席及び試験			
6. 使用テキスト	「よくわかるWord2019&Excel2019&PowerPoint2019」（FOM出版）※共同購入			
7. 参考文献				
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題/実習内容	
	1	2	OS(Windows)概要、ファイル管理 Word(1)基本操作、文字・記号入力	
	2	2	Word(2)文書作成・編集、書式設定、表挿入	
	3	2	Word(3)表作成・編集、画像・図形の挿入	
	4	2	Word(4)名刺作成、差し込み印刷	
	5	2	Excel(1)Excel概要、データ入力、オートフィル	
	6	2	Excel(2)関数、セルの参照、セルの書式設定	
	7	2	Excel(3)セルの書式設定、行や列の操作、印刷	
	8	2	Excel(4)演習、グラフ、条件付き書式概要 総合試験 (Word/Excel)	

1. 科目名	D-5 GAP(農業生産工程管理)講座		2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	GAPの意義、手法、認証について理解し、実際の取り組み方法を学ぶ。			
4. 到達目標	農業経営者としてGAPを実践するための基礎知識の修得。			
5. 学習・ 評価方法	学習方法：講義、演習形式 評価方法：出席及び試験			
6. 使用テキスト	教員 配付資料			
7. 参考文献				
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題	
	1	1	GAPとは何か(取組の背景、目的、動き等)	
	2	1	「基礎GAP」について(GAP手法のモデル)、NAFICでの取組について	
	3	1	GAP導入について(手順・導入例)	
	4	1	GAP管理点と適合基準について	
	5	1	GAP手法に基づく改善点の抽出	
	6	1	試験	

1. 科目名	E-1 アグリビジネスイノベーション	2. 担当教員	吉村 司 (eナレッジコミュニケーションズ代表)
3. 授業概要	マーケティングによる生産から流通、販売までの実践理論と具体的な事例紹介。		
4. 到達目標	農業経営に必須である販売及び販売管理機能を強化するため、マーケティング理論と実践の基礎を修得。		
5. 学習・評価方法	学習方法: 講義形式、グループ・ディスカッション 評価方法: 出席、受講態度及び試験		
6. 使用テキスト	・『【図解】大学4年間のマーケティングが10時間でざっと学べる』(KADOKAWA) 2018年3月 阿部 誠 (著) ※共同購入		
7. 参考文献	『大学4年間のマーケティングが10時間でざっと学べる』(KADOKAWA) 2017年9月 阿部 誠 (著)		
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題
	1	1	オリエンテーション、『マーケティング』とは
	2	1	マーケティング・コンセプトⅠ 『STP+4P/4C』
	3	1	マーケティング・コンセプトⅡ 『強みと弱みを知る(SWOT分析)』
	4	1	消費者購買行動、CRM(『1 to 1マーケティング』 『顧客生涯価値(LTV)』)
	5	1	青果流通(プレイス)と価格設定(プライス)
	6	1	デジタル・マーケティングとAI
	7	1	ブランドと経験価値マーケティング
	8	1	試験

1. 科目名	F-1 農産物販売実習	2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	専門実習の一環として、学生自らが生産した農産物を市場出荷、農産物直売所及びイベントにおいて販売する。商品づくり収穫物の調製やパッキング技術、販売促進させる広報物(ポップ等)の作成と商品陳列方法、商品価値にともなう値決めの仕方等について学ぶ。		
4. 到達目標	農産物の販売技術を習得し、消費者のニーズを把握するとともに経営感覚及びマーケティング能力を向上。		
5. 学習・評価方法	学習方法: 実習形式(収穫調製、直売所・イベントでの販売等) 演習形式(広報物の作成、商品陳列) 評価方法: 理解習熟度、態度等		
6. 使用テキスト			
7. 参考文献			
8. 授業計画	月	品目	実習内容
	4月	イチゴ、ホウレンソウ、花苗	収穫、調製、パッキング 販促のための広報物(ポップ等)の作成と商品陳列 まほろばキッチン檀原店での対面販売実習
	5月	キュウリ、イチゴ、ホウレンソウ、花壇苗	
	6月	トマト、ナス、ホウレンソウ、ウメ、切り花	
	7月	スイカ、メロン、切り花	
	9月	ナス、ブドウ、切り花	
	10月	ホウレンソウ、キュウリ	
	11月	トマト、キャベツ、カキ	
	12月	イチゴ、ダイコン	
	1月	イチゴ、ホウレンソウ	
	2月	イチゴ、ホウレンソウ	
	3月	イチゴ、ホウレンソウ	

1. 科目名	G-1 奈良学入門		2. 担当教員	谷垣 裕子(なら食と農の魅力創造国際大学校長) 岡本 彰夫(奈良県立大学 客員教授) 井上 さやか(奈良県立万葉文化館企画・研究係長) 五條 永教(金峯山寺 執行長) 石橋 輝一(吉野中央木材株式会社代表取締役社長) 馬場 基(奈良文化財研究所平城地区史料研究室長)
3. 授業概要	奈良県の歴史・風土・文化を学び、奈良に関する幅広い知識を学ぶ。 県内関係者の講話、現地見学等により、日本人の心の原点に触れる。			
4. 到達目標	奈良に対する幅広い知識を修得し、奈良の特徴や良さ、日本の心などを教養として身につける。			
5. 学習・ 評価方法	学習方法:奈良の歴史、文化、食に関する専門家による講義、現地学習 評価方法:レポート、出席率の総合評価			
6. 使用テキスト	各授業ごとに資料を配布			
7. 参考文献				
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題	
	1	1	奈良が持つ観光資源や歴史・文化資源	
		1	大和の祭礼、大和の食	
		2	奈良が持つ観光資源や歴史・文化資源（現地学習）	
	2	1	奈良時代の文化と万葉集（現地学習）	
	3	2	金峯山寺と修験道の歴史と食(現地学習)	
		2	奈良の木の文化、奈良県の林業（現地学習）	
	4	1	木簡が語る奈良時代の食事	

1. 科目名	H-1 特別講義	2. 担当教員	外部講師
3. 授業概要	各界の専門講師を招き、国際的な農業情勢や高度・新たな農業技術(スマート農業等)及び農業経営等について学ぶ。		
4. 到達目標	高度・新たな専門的農業技術(スマート農業等)及び農業経営センスの修得。		
5. 学習・評価方法	学習方法:講義形式 評価方法:出席及びレポート		
6. 使用テキスト	教員配付資料		
7. 参考文献			
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題/実習内容
	1	2	農業経営力強化講座(1)
	2	2	農業経営力強化講座(2)
	3	2	公開講座(優良事例等)

1. 科目名	H-2 食材活用ワーキング	2. 担当教員	西野慎一(野菜ソムリエ上級プロ・6次産業化プランナー) 辻調理師専門学校講師
3. 授業概要	両学科生で構成されたグループごとに、それぞれの知識・技術を持ち寄り、農産物の特徴やそれを活かす調理法について意見交換と調理実習を重ね、オリジナルメニューを開発し、互いに評価する。		
4. 到達目標	オリジナルメニューの開発を通して、農産物の特徴やそれを活かす調理方法について学び、農作物の捉え方の目を養う。		
5. 学習・評価方法	学習方法:グループワーク・実習 評価方法:出席・授業態度・振り返りレポート等		
6. 使用テキスト	必要に応じ資料等を配布		
7. 参考文献			
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題/実習内容
	1	2	趣旨・フレームの伝達／アグリマネジメント学科ほ場見学 食材の活用方法の検討(グループワーク)
	2	2	食材を活かした調理方法の検討(グループワーク)
	3	3	オリジナルメニューの試作
	4	1	試食審査会準備(グループワーク)
	5	3	オリジナルメニューの調理と試食審査会
	6	1	全体振り返り・レシピ作成

1. 科目名	H-3 イベント企画運営 I	2. 担当教員	坂元雄二(アートディレクター) 北尾篤司(フリーフォトグラファー) アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	NAFIC祭、中間発表会に積極的な参加をとおして、地域・グループ活動等をする上で必要となる企画力並びにコミュニケーション、プレゼンテーション能力や写真やPOPによる情報発信(販売促進)能力を身につける。		
4. 到達目標	企画力並びにコミュニケーション、プレゼンテーション能力を向上させる。		
5. 学習・評価方法	学習方法:講義・演習形式 評価方法:出席及び取組み態度、発表内容等		
6. 使用テキスト	教員配付資料		
8. 授業計画	回	コマ数	授業演題
	1	4	農作物の販売促進に効果的なPOPの作成
	2	2	作物の販売促進に効果的な写真の撮り方
	3	4	NAFIC祭準備
	4	4	NAFIC祭
	5	3	意見発表会

※卒業後の進路希望に応じ、H-4またはH-5を選択する。

1. 科目名	H-4 就農基礎講座	2. 担当教員	花山幸江（キャリアコンサルタント） アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	就農に必要な知識（収支計算や労務管理、農地の権利取得など）を獲得するとともに、新規就農者圃場や先進地視察、就農を支援する機関への訪問を行い、具体的かつ実現可能な経営ビジョンを樹立する。		
4. 到達目標	各自の就農計画の作成を通じて、就農後の長期的な経営ビジョンを樹立する。		
5. 学習・評価方法	学習方法：講義・演習・現地訪問形式 評価方法：出席・就農計画書・授業態度等		
6. 使用テキスト	職員配布資料		
7. 授業計画	回	コマ数	授業内容
	1-2	各1	就農計画の作成、農地の権利取得に係る制度や労務管理について1
	3	1	自己紹介・研修先でのマナー（就農基礎講座との合同）
	4-8	各1	就農計画の作成、農地の権利取得に係る制度や労務管理について2
	9	4	視察研修（県南部）
	10	4	視察研修（県東部）
	11	4	視察研修（大和平野）
	12-15	各1	就農計画の精査

1. 科目名	H-5 就職基礎講座	2. 担当教員	花山幸江（キャリアコンサルタント） アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	就職に向けた目標設定から、農業法人や農業関連企業への就職に必要な知識の習得、県内の職場訪問、履歴書の作成等を通じて職業意識を高める。		
4. 到達目標	農業に関わる仕事の現場を理解することで卒業後のビジョンを明確にし、就職に対する心構えを持つ。		
5. 学習・評価方法	学習方法：講義・演習・現地訪問形式 評価方法：自己PRや志望動機の作成・授業態度等		
6. 使用テキスト	職員配布資料		
7. 授業計画	回	コマ数	授業内容
	1	1	自己紹介・研修先でのマナー（就農基礎講座との合同）
	2	1	自己理解
	3-5	各1	自己分析（これまでの人生の振り返り、適性、強み、弱み、価値観）
	6	1	職場訪問対策
	7	4	職場訪問（県南部）
	8	4	職場訪問（県東部）
	9	4	職場訪問（大和平野）
	10	2	卒業生との意見交換会
	11	1	仕事理解と今後の取り組み
	12-14	各1	履歴書（エントリーシート）の作成、面接対策

※H-6については、農業法人や農業関連企業への就職希望者を対象に実施。希望者以外は専門実習。

1. 科目名	H-6 農業関連企業ガイダンス （1・2年生対象）	2. 担当教員	アグリマネジメント学科職員
3. 授業概要	県内農業法人や農業関連企業等からのガイダンス		
4. 到達目標	農業法人や農業関連企業に関する職業理解を深める		
5. 学習・評価方法	学習方法：就職先となりうる法人・企業の方との対話を通じて、経営理念や業務内容を理解する 評価方法：出席・授業態度等		
6. 使用テキスト	職員配布資料		
7. 授業計画	回	コマ数	授業内容
	1	4	県内農業法人・農業関連企業等と面談（6月予定）